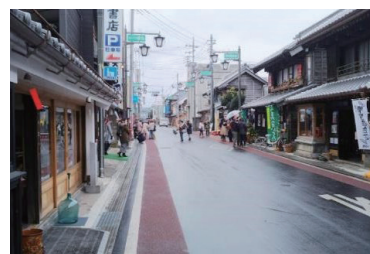


登録有形文化財を活用したまちづくり ～地域に広げる活動の輪～

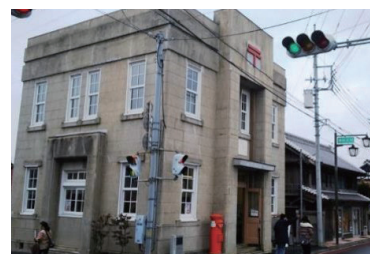
1 社会資本の概要

昭和50年代から真壁の伝統的な建造物の取り壊しが目立ち、商店を中心とする町が活気を失いつつありました。平成5年に伝統的な町並みの継承・活用を志す地元有志により保存団体が結成されると、平成11年から登録文化財制度の積極的活用が開始、短期間で104棟が登録され、真壁は登録文化財の町として脚光を浴びることとなりました。町並みが高い評価を得るようになると来訪者が増加

しましたが、当時はまだ観光案内所がなかったため、ボランティアによる町並み案内活動が始まりました。平成21年に「桜川市真壁伝統的建造物群保存地区」制度が導入されると、旧真壁郵便局と旧高久家住宅が公有化され、町並み案内活動等の拠点施設として、景観に合わせた真壁伝承館が建設されました。



登録有形文化財の町並み



旧真壁郵便局



旧高久家住宅

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

真壁町が登録文化財制度の積極的活用を開始すると、マスコミ等に取り上げられることが多くなり来訪者が増加しました。しかし当時は観光案内所がなく文化財の特徴が分かりにくかったため、来訪者より「案内人がほしい」という意見が多くありました。そこで平成13年に市民講座を受講した修了生たちが街並み案内ボランティアとして、真壁地区の歴史的建造物や郷土の歴史、伝統的な景観、文

化財の特徴などを来訪者に案内をする活動を開始しました。

年2回開催される地元の子どものたちの作品展では、作品を町中の建物にランダムに展示し、作品を探しながら町並み全体を歩いてもらうよう工夫し、住民にとっても地域の特徴や魅力を再発見できる機会を創出しています。



真壁街並み案内ボランティア



建物を利用した作品展(町なか美術館)

ディスカバーまかべ／
真壁街並み案内ボランティア／桜川市

茨城県 桜川市

3 活動の成果や波及効果等

地道に町並み保存活動を行うことで、登録有形文化財制度への行政の積極的な取り組みを誘導し、更には国の重要伝統的建造物群保存地区への選定に至る住民の活動をけん引しました。

町並み案内を行うことにより、建物の所有者と細やかな情報交換ができるため、所有者と行政や各種まちづくり団体との間の情報伝達に重要な役割を果たしています。また、地域の見守り活動の役割も果たしています。

イベント実施時や案内活動の際に、参加者へ研修会等の参加を呼び掛け、地区で活動する他の様々な市民団体との接点となることで、地域づくり活動全体の核となっています。



古民家の活用(落語会)



子ども達が町の中を探索



町並み案内板の作成・設置



町並みマップの作成・配布



活動拠点の真壁伝承館



来訪者に町の特徴を説明

所在地

活動主体及び連絡先

対象となる社会資本

茨城県桜川市真壁町

ディスカバーまかべ
茨城県桜川市真壁町飯塚53-1 E-mail: xm@p-cafe.net
真壁街並み案内ボランティア(事務局) 桜川市教育委員会
茨城県桜川市真壁町真壁198 TEL: 0296-23-8521

登録有形文化財をはじめとする真壁地区の歴史的建造物 ※管理者: 桜川市

喜びの声

受賞者

ディスカバーまかべ
会長
吾妻 周一真壁街並み案内ボランティア
会長
市塚 領子

コメント

長年(31年)の、真壁の歴史的町並み保存運動を行ってきた事のご褒美が頂け、会員一同大変嬉しく、また感謝しております。今後もより一層頑張っていきたいと思っております。(ディスカバーまかべ)

設立をはじめ、これまでに関わられた多くの先輩方からの継続的な活動を評価していただき大変嬉しく思います。真壁を褒めて下さる多くの方々の声も励みになります。(真壁街並み案内ボランティア)

活動の内容

- 町並み保存活動
- 町並みかわら版やマップの作成・配布
- 街並み案内ボランティア
- 市民向けまちづくり講座開催

活動の経歴

- | | |
|-------|--------------------|
| 平成 5年 | ディスカバーまかべ設立 |
| 平成13年 | 真壁街並み案内ボランティア設立 |
| 平成19年 | 福祉・文化団体顕彰 |
| 平成20年 | 観光事業功労者表彰 |
| 令和 2年 | 全国町並みゼミ桜川市真壁大会開催誘致 |

